

[参考資料]農業経営モデル別試算

1. 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標

[参考]

No	経営類型	作目・規模	粗収益 (A)千円	経営費 (B)千円	農業所得(C) (A-B)千円	所得率 C/A(%)	想定初期 投資(千円)
1	白ねぎ(砂丘畑・周年)	夏ねぎ 20a、秋冬ねぎ 40a、春ねぎ 30a	9,464	6,461	3,003	32	11,000
2	ブロッコリー	初夏どりブロッコリー 100a、秋冬どりブロッコリー 400a	14,529	11,649	2,880	20	14,000
3	スイカ+ハウレンソウ	スイカ(ハウス 42a、大型 40a)、ハウレンソウ 42a(ハウススイカ後作)	13,661	10,809	2,853	21	33,000
4	ハウレンソウ(ハウス・周年)	ハウレンソウ 42a	12,136	9,528	2,608	21	32,000
5	らっきょう(単作)	らっきょう 250a	19,869	17,004	2,865	14	17,000
6	ながいも(ねばりっこ)+らっきょう	ながいも(ねばりっこ) 70a、らっきょう 50a	14,142	11,272	2,870	20	16,000
7	イチゴ(高設)	イチゴ 21a	9,047	6,409	2,638	29	27,000
8	トマト(雨除け夏秋)+ハウレンソウ(周年)	トマト 20a、ハウレンソウ 20a	9,276	6,721	2,555	28	25,000
9	トマト(雨除け夏秋)	トマト 48a	15,120	12,577	2,543	17	31,000
10	アスパラガス(露地)+白ねぎ(水田)	アスパラガス(露地)30a、白ねぎ(秋冬どり) 50a	7,710	5,154	2,556	33	8,000
11	梨(単作)	新甘泉(有袋) 30a、王秋 20a	7,602	5,183	2,419	32	8,000
12	柿(単作)	輝太郎 30a、富有 20a	5,091	2,360	2,731	54	6,000
13	和牛繁殖	和牛繁殖(経産牛20頭、育成牛5頭)	8,268	5,831	2,437	29	29,000

※「所得」は一定の条件下における試算、「初期投資」は施設・農機等新たに整備することを前提にした試算

2. 効率のかつ安定的な農業経営の基本的指標

【個別経営体】

No	経営類型	作目・規模	粗収益 (A)千円	経営費 (B)千円	農業所得(C) (A-B)千円	所得率 C/A(%)
1	水稲・飼料用米型	水稲 15ha(きぬむすめ 5ha、コシヒカリ 5ha、飼料用米 5ha)、水稲作業受託10ha	16,594	11,535	5,059	30
2	水稲一部野菜転換Ⅰ型	水稲 15ha、ブロッコリー(秋冬どり 5ha)	33,040	27,087	5,953	18
3	水稲一部野菜転換Ⅱ型	水稲 15ha、白ねぎ(秋冬 1ha)	27,675	22,023	5,652	20
4	露地野菜Ⅰ型	らっきょう 200a、梨 30a、水稲 50a	25,842	20,966	4,876	19
5	露地野菜Ⅱ型	ブロッコリー(初夏どり 200a、秋冬どり 500a)、スイートコーン 30a	22,058	17,260	4,798	22
6	露地野菜Ⅲ型[砂丘畑]	白ねぎ(春 40a、夏 25a、秋冬 35a)、緑肥 50a	12,302	8,059	4,243	34
7	露地野菜Ⅳ型[砂丘畑]	ながいも(ねばりっこ)90a、らっきょう 60a	19,264	14,338	4,926	26
8	施設野菜・切り花型	スイカ(ハウス 60a、大型 30a、中型 20a)、ストック 40a、抑制シンテツポウユリ 20a	24,177	18,441	5,736	24
9	露地、施設野菜型	スイカ(ハウス 30a、大型 60a、中型 40a)、ハウレンソウ 30a、秋冬ブロッコリー 100a	19,142	14,707	4,435	23
10	花壇苗	ハボタン 10a、パンジー 30a、マリゴールド 10a、ペチュニア 10a、サルビア 10a	19,044	15,069	3,975	21
11	芝	芝 6.0ha	22,317	17,724	4,593	21
12	なし型(露地+ハウス+新品種)	ゴールド二十世紀 30a、ハウス二十世紀 20a、新甘泉 20a、秋甘泉 10a、王秋 20a	17,266	10,740	6,526	38
13	なし・かき型(露地+新品種)	ゴールド二十世紀 20a、新甘泉 20a、秋甘泉 10a、王秋 20a、輝太郎 20a、富有 20a	15,463	8,625	6,838	44
14	ぶどう型(ハウス+新品種)	巨峰 10a、テラウェア 10a、ピオーネ 20a、シャインマスカット 20a	10,695	6,651	4,044	38
15	乳用牛(フリーストール方式)型	乳用牛(経産牛 120頭、育成牛 72頭)、自給飼料 20ha	135,701	122,597	13,104	10
16	乳用牛(つなぎ方式)型	乳用牛(経産牛 60頭、育成牛 20頭)、肉用牛(ET黒毛和種 30頭)、自給飼料 6ha	83,614	70,609	13,005	16
17	肉用牛(繁殖肥育一貫、黒毛和種)型	肉用牛(経産牛 50頭、育成牛 12頭、肥育牛 90頭)、自給飼料 2ha	75,670	67,526	8,144	11
18	肉用牛(肥育黒毛和種)型	肉用牛(肥育牛 200頭)、自給飼料 1ha	157,715	150,633	7,082	4
19	養豚(繁殖肥育一貫)型	繁殖母豚 100頭、育成豚 26頭、販売肉豚 2,213頭	96,294	86,284	10,010	10
20	採卵鶏型	採卵鶏 26,000羽、年間出荷鶏卵 450t	86,944	78,002	8,942	10
21	食鶏型	食鶏 40,000羽、年間出荷羽数 238千羽	110,539	102,844	7,695	7
22	しいたけ・施設野菜・水稲型	しいたけ(20,000本、乾燥)、ほうれんそう 30a、水稲 2.5ha	8,885	5,254	3,631	41

※鳥取県農業生産1千億円達成プランより引用

鳥取県の主な特産物の経営試算(10a当たり)

分類	品目	収量	粗収益 (A)	経営費 (B)	所得 (C=A-B)	所得率 (D=C/A)	労働時間
作物	水稻	600kg	129,158円	107,943円	21,215円	16%	28時間
果樹	梨(ゴールド二十世紀)	4,200kg	1,512,000円	993,746円	518,254円	34%	419時間
	梨(新甘泉(有袋))	3,300kg	1,491,600円	824,738円	666,862円	45%	299時間
	梨(なつひめ(有袋))	4,000kg	1,640,000円	984,775円	655,225円	40%	352時間
	梨(王秋)	6,000kg	1,986,000円	1,219,330円	766,670円	39%	262時間
	柿(富有(平棚))	2,200kg	578,600円	360,616円	217,984円	38%	158時間
	柿(西条)	2,000kg	510,000円	464,419円	45,581円	9%	182時間
	ぶどう(ピオーネ(無加温))	1,500kg	1,800,000円	1,261,986円	538,014円	30%	434時間
野菜	白ねぎ(秋冬・県下全域)	3,000kg	1,107,000円	753,628円	353,372円	32%	522時間
	ブロッコリー(秋冬どり)	920kg	304,520円	246,800円	57,720円	19%	112時間
	トマト(雨よけ夏秋)	10,500kg	3,150,000円	2,687,066円	462,934円	15%	893時間
	イチゴ(高設)	4,200kg	4,523,400円	3,254,769円	1,268,631円	28%	1,774時間
	スイカ(ハウス)	6,000kg	1,224,000円	984,895円	239,105円	20%	190時間
	ミニトマト(抑制)	3,980kg	2,937,240円	2,003,031円	934,209円	32%	1,303時間
	きゅうり(半促成)	9,500kg	1,662,500円	1,158,211円	504,289円	30%	428時間
	ピーマン(夏秋)	4,600kg	1,090,200円	654,371円	435,829円	40%	645時間
	ハウレンソウ(周年)	4,840kg	2,976,440円	2,304,978円	671,462円	23%	1,646時間
	らっきょう(砂地)	1,800kg	1,033,028円	811,713円	221,315円	21%	283時間
	にんじん(秋冬)	4,000kg	404,000円	325,149円	78,851円	20%	37時間
	ながいも(ねばりっこ)	3,200kg	1,451,800円	1,061,278円	390,522円	27%	327時間
	アスパラガス(露地)	1,050kg	1,067,850円	715,237円	352,613円	33%	304時間

注1)鳥取県「農業経営指導の手引き」(平成30年度版)より抜粋・引用した数値であり、あくまでも試算です。

注2)粗収益、経営費等は、標準的家族経営規模に基づく条件で算出しています。

注3)これらの数値は、農地の条件や栽培技術の習熟度により変わります。